

EGOTERIC

G-03X

目次

エンテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

エンテリック製品は、最良の音質で未永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目次	2
特長	3
安全にお使いいただくために	4
お使いになる前に	7
接続	8
各部の名称	10
設定	11
ディマー	13
困ったときは	13
仕様	14
保証とアフターサービス	14

特 長

高精度水晶発振器によりクロックを生成

G-03Xは、内蔵の高精度水晶発振器を使ってワードクロックを生成します。

OCXO搭載

本機の基準となるマスタークロックには、温度安定度に優れたOCXO(Oven Controlled Crystal Oscillator)を搭載しています。このOCXOは、内部温度が制御された小型の恒温槽に水晶振動子と発振回路を内蔵し、非常に高い周波数安定度を実現しています(−20℃～70℃で±0.1ppm)。

製品出荷時の中心周波数は、±0.1ppm以内です。

最大192kHzのWORD SYNCに対応

本機は、44.1kHz系列(44.1、88.2、176.4)、48kHz系列(48、96、192)またはユニバーサルクロック(100kHz)のワードクロック(同期信号)を出力できます。

3系統6個の出力端子により、多数のオーディオ機器のクロックの一元化が可能です。各系統で周波数 1倍/2倍/4倍の切換ができるので、たとえば88.2kHzの機器と176.4kHzの機器を一台のG-03Xに接続して同期させることができます。

ユニバーサルクロック

エソテリック独自のフォーマットとして、ユニバーサルプレーヤー用のクロック出力(100kHz)を用意しました。ユニバーサルクロック対応機器と接続すれば、様々な周波数のソースに対応できます。

外部発振器に対応




外部から10MHzの基準信号を入力して、クロックを生成することもできます。ルビジウム発振器や超高精度セシウム原子発振器などを、基準発振器として接続することができます。

操作が容易でユーザーフレンドリーなフロントパネル

全ての機能をフロントパネルに配されたボタンを押すだけで簡単に制御でき、視認性の良い表示部により動作状況が一目で確認できます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜け	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	警告	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
	分解禁止	この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
	強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

	注意	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
	強制	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。
	強制	この機器は約9kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	強制	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全にお使いいただくために



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグを
コンセントから
抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンブなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 家具や床が傷付きやすい場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。
- STANDBY/ONスイッチがある機器は、STANDBY/ONスイッチがスタンバイのときに待機電力を消費しません。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

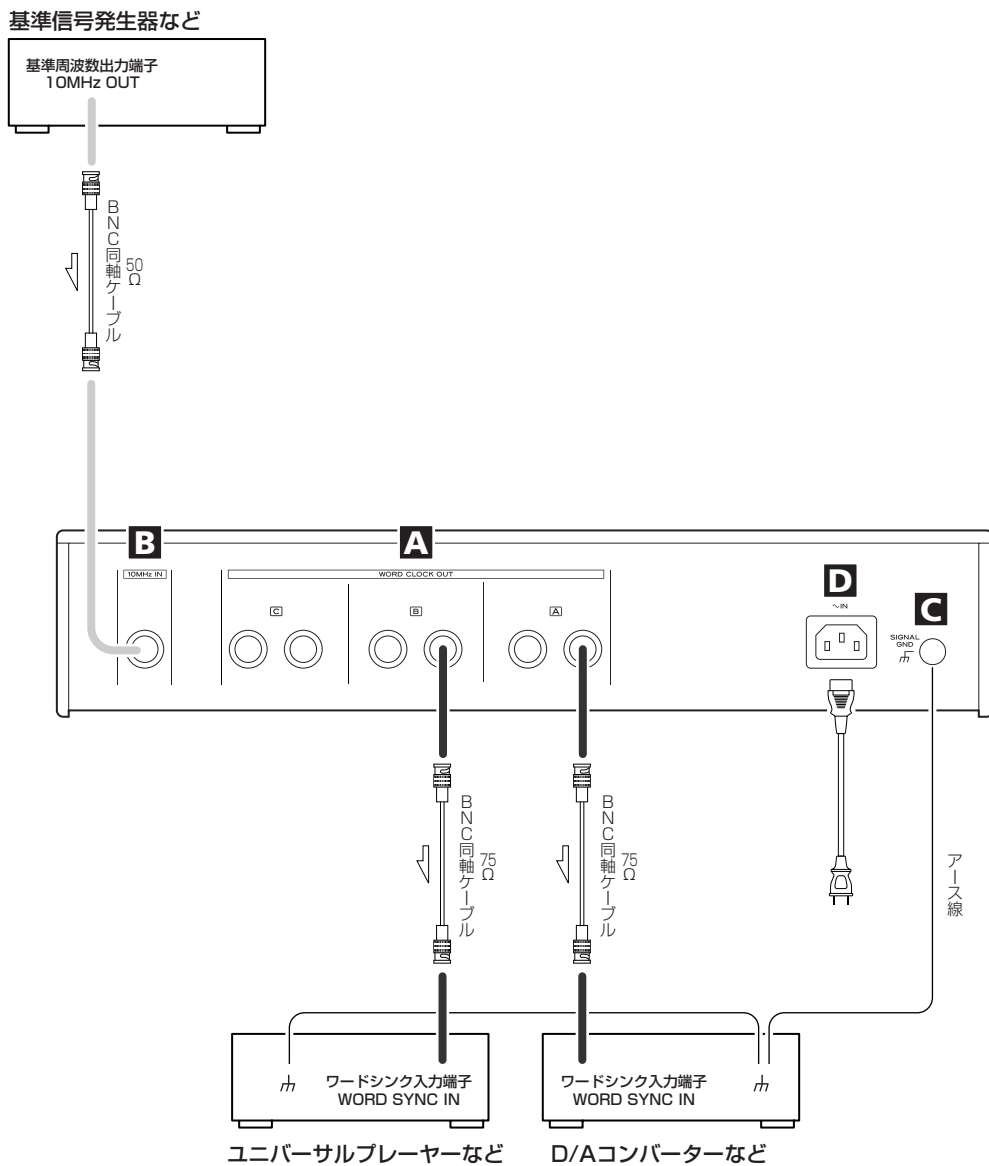
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ワードシンク以外の接続については、各機器の取扱説明書をお読みください。



A ワードクロック出力端子**[WORD CLOCK OUT]**

ワードクロック(同期信号)を出力します。
ワードシンク機能を使うときは、本機のWORD CLOCK OUT端子とデジタル機器(CDドライブユニット、D/Aコンバーターなど)のワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル(インピーダンス 75Ωのもの)で接続してください。

- A、B、Cの系統毎に、周波数(1倍、2倍、4倍、または100kHz)を設定することができます。たとえば、88.2kHzの機器をA系統、176.4kHzの機器をB系統に接続して同期させることができます。周波数はフロントパネルのA、B、Cボタンを押して切り換えてください(10ページ)。

B 基準発振周波数入力端子**[10MHz IN]**

外部の10MHzの基準発振周波数を入力して使用する場合は、基準周波数発振機器の出力端子と本機の10MHz IN端子を接続してください。

この端子に10MHzの信号が入力されると、自動的に基準信号として選択されます。

- 発振器の出力レベルが本機の入力可能範囲外の場合は、使用できません。発振器の出力レベル・精度については、発振器の取扱説明書をご覧ください。

C アース端子[SIGNAL GND]

市販のビニール電線で他の機器とアース接続すると、音質が良くなる場合があります。

- 安全アースではありません。

D 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

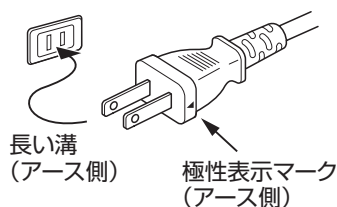
- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

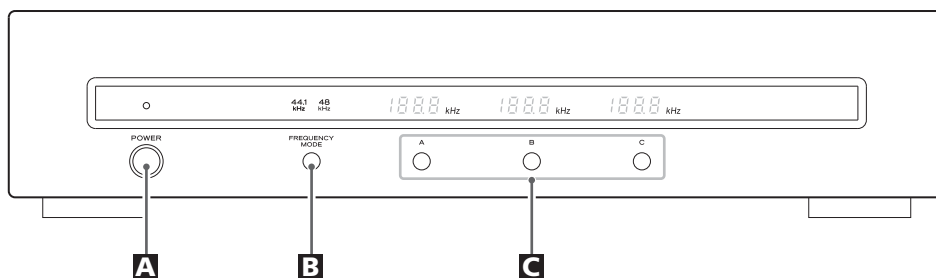
一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。



エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	XLRデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
RCAデジタルケーブル	スピーカーケーブル

各部の名称



A 電源スイッチ [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、電源インジケータが点灯します。

- 電源スイッチをオンにすると、水晶発振器を動作温度までプリヒートさせます。発振周波数が安定するまで1、2分かかります。

⚠ 長期間使わない場合は、本機の電源スイッチをオフにしてください。

B 周波数モードボタン [FREQUENCY MODE]

ワードクロックの基本周波数を選びます。

44.1kHz :

CDとスーパーオーディオCDを再生するときに選んでください。

48kHz :

DVDやDATを再生するときに選んでください。

- このボタンを2秒以上押すと、ディスプレイの明るさが変わります。(13ページ)

C 周波数切換ボタン [A、B、C]

A、B、Cの系統毎に、基本周波数の1倍、2倍、4倍、100kHz、またはオフを選択します。
各々の基本周波数に対して、以下の周波数が選べます。
オフのときは、インジケータが消灯します。

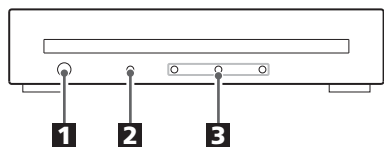
44.1kHzのとき :

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、100kHz

48kHzのとき :

48kHz、96kHz、192kHz、100kHz

設定



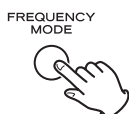
1 本機の電源スイッチをオンにする。



電源インジケータが点灯します。

- 電源スイッチをオンにすると、水晶発振器を動作温度までプリヒートさせます。発振周波数が安定するまで1、2分かかります。プリヒート中は、FREQUENCY MODEボタンの上のインジケータ(44.1kHzまたは48kHz)が点滅します。

2 FREQUENCY MODEボタンを押して周波数モードを選ぶ。



FREQUENCY MODEボタンを押すたびにモードが切り換わります。

44.1kHz :

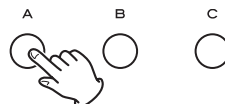
CDとスーパーオーディオCDを再生するときに選んでください。

48kHz :

DVDやDATを再生するときに選んでください。

- **3**でユニバーサルクロック(100kHz)しか使わない場合は、44.1kHzと48kHzのどちらを選んでも構いません。

3 A、B、Cのボタンで、接続した機器が受けられる周波数を選ぶ。



接続した機器がユニバーサルクロックに対応している場合100kHzをおすすめします。

CDとスーパーオーディオCDの周波数は44.1kHzの倍数、DVDの周波数は48kHzの倍数ですが、ユニバーサルクロックならどのディスクにも対応できます。ディスク毎に本機の周波数モードを切り換える必要がないので、便利です。

- 接続した機器がユニバーサルクロック(100kHz)に対応しているかどうか、取扱説明書等でご確認ください。以下の機種は、ユニバーサルクロックに対応していません。
P-0、P-0s、P-70、P-70バージョンアップ、
D-70、D-70バージョンアップ

接続した機器がユニバーサルクロックに対応していない場合

接続した機器が受けられる最も高い周波数に設定することを推奨します。

ただし、以下の機器と接続した場合は、44.1kHzまたは88.2kHzに設定してください。

P-0/P-0s : 44.1kHz
P-70 : 88.2kHz

(次ページに続く→)

設 定 (続 き)

4 接続した機器のワードシンクをオン(またはスレーブ動作)にする。

ワードシンクの設定方法については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。

エソテリックのワードシンク可能な機器の設定例：

- D-01は、WORDボタンで「Rb IN」を選びます。
- D-70バージョンアップは、フロントパネルにあるCLOCK MODEスイッチを「WORD+RAM」にし、リモコンでワードクロックの設定を「IN M1」にします。
- P-0/P-0sはリモコンのSYNCボタンでWORD SYNCをオンにします。
- P-0sバージョンアップは背面にあるWORD SYNCスイッチをONにします。
- P-01は、WORDボタンで「Rb IN」を選びます。
- P-70/P-70バージョンアップは、フロントパネルにあるWORD SYNCスイッチをONにし、背面のPLL フィルタースイッチを「MODE 2」にします。
- X-01は、CLOCK MODEボタンで「Word M1 ON」を選びます。

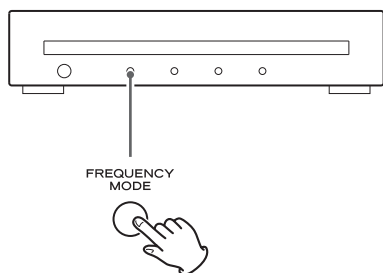
- 本機を使わないときは、電源スイッチをオフにしてください。
- 設定した内容は、電源を切っても保持されます。
- 一度設定すれば、次回からは電源スイッチをオンにするだけでお使いになれます。
再生するディスクまたは機器によっては、周波数モードをFREQUENCY MODEボタンを使って切り換えてください。
ユニバーサルクロックならどのディスクにも対応できますので、ディスク毎に周波数モードを切り換える必要はありません。

当社以外の機器に接続する場合は、その機器の受けられる周波数についてその機器の取扱説明書をよくお読みください。

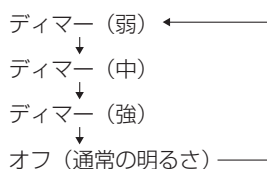
機器によっては、ワードクロックの周波数をオーディオ信号のサンプリング周波数と同じにする必要があります。

また、Dual AES接続の場合はオーディオ信号のサンプリング周波数の半分にする必要のあるものもあります。

ディマー



FREQUENCY MODEボタンを2秒以上押すたびに、ディスプレイの明るさが変わります。



- ディマー(強)を選ぶと、電源インジケータ以外は消灯します。
- ディマー中は、電源をオンにしたりボタンを押したときに一時的に通常の明るさになります。出カクロックが安定してから約5秒経つと、設定した明るさになります。
- ディマーの設定は、電源を切っても保持されます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源コードの差し込みを確認してください。
- ➔ 電源スイッチをオンにしてください。

同期できない。

- ➔ 同期できないワードクロックが出力されていないか確認してください。各機器の入力可能ワードクロック周波数の中から選んで入力してください。同期できるワードクロックは、各機器の接続方法や設定によっても変わる場合がありますので、各機器の取扱説明書をよくお読みください。

A、B、Cボタンを押しても希望の周波数を選べない。

- ➔ FREQUENCY MODEボタンを使って基本周波数を選んでから、A、B、Cボタンを押してください。

仕様

クロック出力

44.1k系列..... 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
48k系列..... 48kHz、96kHz、192kHz
UNIVERSAL CLOCK系列..... 100kHz

端子..... BNC不平衡
出力レベル..... 矩形波 (TTLレベル/75Ω)

精度..... ±0.1 ppm以内(出荷時)
(ppm=10⁻⁶)

出力クロック安定時間

電源オンから発振器安定まで..... 約2分
FREQUENCY MODE切換時出力安定まで.. 30秒以内

基準周波数入力

入力周波数..... 10MHz (±10ppm以内)
端子..... BNC不平衡
入力レベル..... サイン波 : 0.5~1.0 Vrms/50Ω
矩形波 : 1.5~3.0 Vpp/50Ω

一般

電源..... AC100V 50-60Hz
消費電力..... 12W(最大)、7W(安定時)
寸法(W×H×D)..... 442×97.5×353(mm)
質量..... 9.1kg
許容動作温度..... +5℃~+35℃

付属品

電源コード×1
フェルト×3
ご愛用者カード×1
取扱説明書×1

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はご購入日から一年です。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはご購入の販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でご購入の販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - ご購入後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

13ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：マスタークロックジェネレーター G-03X

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。